

安全対策連絡協議会の開催

平成27年1月29日
在シンガポール日本国大使館

1月27日、シリアにおける邦人拘束事案発生に伴い、大使館において「安全対策連絡協議会」（大使館と在留邦人側（日本人会、JCCI、学校関係、運輸・旅行関係、政府系団体）代表との双方向的な意見交換・情報交換の場）を開催しましたところ、その概要は次のとおりです。

1. 1月20日、邦人2名の殺害を予告する内容のISILによって発出された動画がインターネット上で配信され、日本政府は、人命第一の観点から、関係各国等とも協力しつつ、早期解決に向けて最大限の努力を尽くしています。

今回の事案のみならず、最近では、今月7日には仏・パリ市内において風刺週刊誌本社が襲撃される等のテロ事件が発生し、昨年12月15日には豪・シドニーにおいて人質立てこもり事件も発生する等、イスラム過激派による、またはそれが引き金になったと思われるテロ・犯罪事件が世界各地で相次いで発生しています。

こうした中、大使館においては、外務本省の指示により以下2点についてそれぞれ対応しました。

（1）安全対策連絡協議会の開催

本日（27日）、臨時の安全対策連絡協議会を開催しました。

（2）日本人学校等の安全対策

一連の事件発生を受け、大使館として以下の措置を取りました。

ア 日本人学校、日本語補習授業校、日本人幼稚園、早稲田渋谷シンガポール校等へ関連情報の提供を行い、安全面の相談に応じています。

イ 日本人学校等を管轄するクレメンティ警察及びベドック警察に対し、大使館から警備強化を要請し、実際パトロール強化が実施されています。

2. 「最近の当地治安・テロ情勢」について、大使館より次のとおり紹介しました。

一連のテロ事案を受け、シンガポールがテロ警戒レベルを上げていることはありません。しかし、一般的に治安事情のよいシンガポールであってもテロの脅威がなく安泰というわけではありません。シンガポール副首相兼内務大臣は、議会において、シリアへ戦闘目的で渡航しているシンガポール人が「数人」いることを明らかにしています。また、シンガポールは、昨年12月、「イスラム国」へ対抗する米国主導の有志国連合への軍事的な支援を表明しています。リー首相は、昨年12月オーストラリアのシドニーで発生した人質立てこもり事件を受け、「同事件はテロに対する警戒を決して緩めてはならないことを示して

いる。どれほど警戒をしても、ここ（シンガポール）で同様のテロ事件が発生する可能性を完全に排除することは不可能である。」と国民に注意喚起を促しています。

シンガポールの隣国であるインドネシア、マレーシアにおける治安・テロ情勢にはより一層の警戒が必要です。新聞報道によれば、「イスラム国」にはインドネシアから100～200人、マレーシアからは30～50人が戦闘員等として渡航していると見られ、こうした戦闘員が自国へ戻りテロを敢行するおそれが懸念されています。こうした戦闘員との関係は不明ですが、昨年10月、クアラルンプールの繁華街路上で手投げ弾を使用した爆発事件が発生し、複数の外国人が巻き添え被害にあっています。また、マレーシア・サバ州では身代金目的の外国人誘拐事件が断続的に発生しており、現在、外務省の渡航情報では、同州東側の島嶼部及び周辺海域について「渡航の延期をお勧めします。」として注意を呼びかけています。

3. 在留邦人の皆さまにおかれては、安全確保のために、この機会に、改めて以下の点の再確認をお願いします。具体的には、

- (1) 情報収集（安全の手引き、大使館 HP、外務省 HP、海外安全 HP、各種報道等）をする。
- (2) 危険なところへは行かない。
- (3) 仮に危険でない場所でも、一般的注意は怠らない（「目立たない」、「用心を怠らない」、「行動をパターン化しない」は安全対策の3原則。）。
- (4) 在留届の提出励行、たびレジの活用。
- (5) この機会に、緊急連絡先や緊急連絡網の再確認をする。
- (6) 連絡手段の確保、「(家族・同僚に対する) 所在の明確化」の確認をする。

4. マレーシアの在ジョホールバル駐在官事務所が昨年12月末に廃止されたこと、及び既に今年に入り当地在留邦人2名がジョホールバルで旅券の盗難に遭っている旨を紹介し、注意を呼びかけました。

5. その後、安全対策連絡協議会出席者で日本人学校等やスクールバスの安全対策、この協議会の内容の周知方法、短期渡航者や出張者の滞在先や連絡先の把握等について、意見交換を行いました。

6. 当日席上配付した資料は次のとおりです（内容は各リンクからご覧下さい。）。

- (1) シリアにおける邦人拘束事案に関する内閣総理大臣声明

http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/tp/page2_000056.html

- (2) 邦人殺害予告事案に対する日本からのメッセージ

http://www.mofa.go.jp/mofaj/me_a/me2/page16_000010.html

- (3) 広域情報「シリア邦人拘束を受けた注意喚起」
<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo.asp?infocode=2015C019>
- (4) 広域情報「欧米諸国等に対するテロの脅威に関する注意喚起」
<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcwideareaspecificinfo.asp?infocode=2015C015>
- (5) 安全の手引き～シンガポールでの生活を安全に過ごすために～
[http://www.sg.emb-japan.go.jp/ryoji_anzennotebiki2014ver\(1\)_j.pdf](http://www.sg.emb-japan.go.jp/ryoji_anzennotebiki2014ver(1)_j.pdf)
- (6) 海外安全（たびレジ及びORR net）リーフレット
<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>
- (7) 在ジョホールバル駐在官事務所（マレーシア）の閉鎖（注意喚起）
http://www.sg.emb-japan.go.jp/ryoji_JBOC_23-12-14_j.pdf

以上